

八王子市における合流式下水道改善計画について

合流式下水道は、雨水と汚水を同一管渠を用いて排除するシステムであり、汚水と雨水の対策を同時に進められる反面、雨天時において未処理の汚水が雨水と共に公共用水域に排出され、水質汚濁等問題となっています。

平成15年に下水道法施行令が改正され、雨水の影響が大きい時の放流水の水質を分流式下水道の雨水水質と同程度の水質にすること等が規定され、原則平成25年度までに対策を完了することが義務付けられました。

それを受けて、本市では下記のとおり合流式下水道改善計画を策定し、対策を実施しました。

1. 第一期八王子市北野処理区地区合流式下水道改善計画

平成16年度に策定し、平成17年度から平成20年度の4か年での対策目標を計画しました。

合流式下水道の当面の改善目標である3つの対策のうち、

- ① 汚濁負荷量の削減
 - ・年間放流負荷量を「分流並みと同程度以下」にする。
- ② 公衆衛生上の安全確保
 - ・各吐き口からの未処理下水の放流回数を半減させる。

については、従前の対策（遮集管の整備、越流堰の嵩上げ、雨水滞水地の設置）により目標達成しているため、

- ③ 夾雑物の削減
 - ・自然吐き口からの夾雑物の流出を極力なくす。

について対策を実施しました。

対策内容；ストームスクリーンを設置（No.5、6雨水吐室）。

2. 第二期八王子市北野処理区地区合流式下水道改善計画

平成21年度に策定し、平成21年度から平成25年度までの5か年での対策目標を計画しました。

第一期計画から引き続き、

③ 夾雑物の削減

- ・自然吐き口からの夾雑物の流出を極力なくす。

について、対策が必要な雨水吐室5箇所のうち、残りの3箇所について対策を実施しました。

対策内容；渦流式水面制御装置を設置（No.2、3、4雨水吐室）。